

金田町人の動き

| | | | |
|-----|-------|----|-------|
| 世帯数 | 2,286 | 増 | 10名 |
| 人口 | 8,761 | 男 | 4,251 |
| | | 女 | 4,510 |
| 出生 | 12 | 死亡 | 3 |
| 転入 | 25 | 転出 | 30 |

かなだ

第133号

金 田 町 報
 発行所 金田町役場総務課
 編集兼発行人 大熊 康 郷
 印刷所 九州機関紙印刷所
 電 話 093 (602) 4 4 6 1

金田町老人憩の家の落成式

住民課福祉係

本町の老人の皆様方の待望久しかった憩の家が、去る五月十一日にくめでたく開館式を終え、翌十二日より開館致しました。総工費三千七百九十九万三千円を投じ、他に町民の有志の方々の御寄贈に依り備品等を設備して、下田川においては誇り得る立派なものが完成したのであります。

その間町議会、町民各位、あるいは老人クラブの千二百四十三名、一日平均

金田町交通安全婦人部会に栄ある感謝状

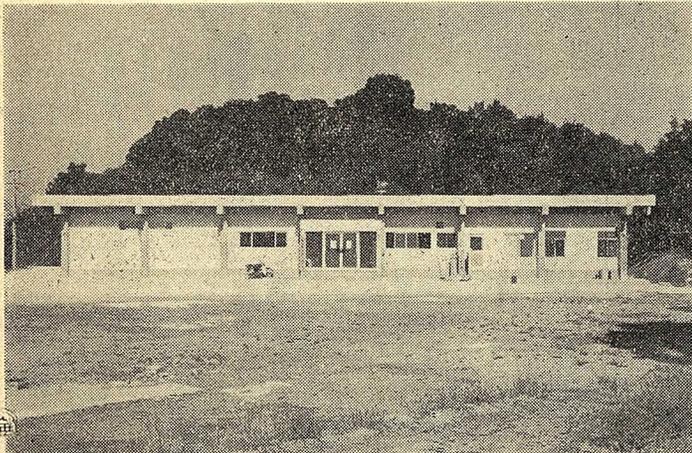
総務課

金田町交通安全婦人部会 与されました。

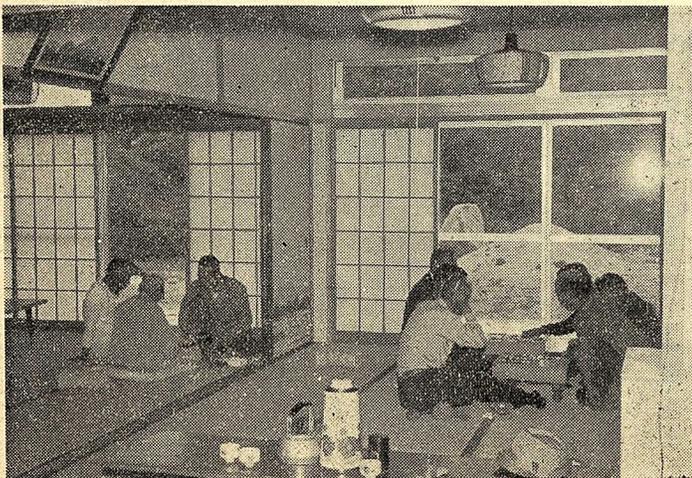
は昭和四十年七月に結成以来、交通安全のため献身的な尽力をされ交通事故の防止と交通秩序の確立に貢献された功績に対し、秋の全国交通安全運動にあたり九州管区警察局長及び九州交通安全協会会長より感謝状が授

七十三名で電気治療機の方が千三十九名、一日平均六十一名、六月は二十六日間

名、一日平均百二十九名、七月は二十六日間で入場者三千二百三十一名、一日平均百二十四名、電気治療機の方が四千二百六十六名、一日平均百六十四名、八月は二十五日間で入場者二千四百十四名、一日平均九十六名で電気治療機の方が九百四十名、一日平均百五十七名、九月は二十六日間で入場者二千五百七十六名、一日平均九十九名、電気治療機の方が四千三百五十名、一日平均百六十七名となっており、特に電機治療機は万病に効能があり、利用率も非常に高いのであります。どうぞ町内の六十歳以上の御老人の方々の利用をおすすめ致します。開館が九時、閉館十六時三十分となっております。入場料五十円、電気治療機の利用料が一回十五分間五十円となっております。長い人生のつかれを癒す絶好の憩いの場です。皆様のためです。どうぞごゆっく



全 景



娛 楽 室 風 景

金田町史

領布価格 1,000円

御希望の方は中央公民館へ

部落の歴史(一)

中央公民館

おたがいに、人間が人間として正しく認め合い、信じてあうことが出来る世の中ほど、住みよい社会はありません。これを民主的な社会といえます。しかし、現実にはさまざま、不合理や、偏見によって、人間が人間を差別するという、大きな過ちを犯していることがあります。その中でも、部落差別ほど深刻で、重大問題はありません。

金田町においても、このような過った社会を、一日もはやく平等で差別のない美しい町にするために、機会あるごとに町民の皆さんに訴えて参りましたが、本年二月より町役場の屋壁にという宣言標を掲げていることに既に皆さんもお気づきと思います。民主的な美しい町づくりのために、町民こそ、「差別は罪悪」という真の理解を持たれるよう念願して再び「部落の歴史」その他を町報に連載したいと思えます。

「天は人の上に人をつくらず、人の下に人をつくらず」とこのような社会の実現

トの中にも、文章や発言の中で差別事件を沢山起こしています。このような文章や、発言の内容は、まるで未解放部落だけにあるような印象を一般に与えるものであります。一般部落と何ら変わるものではない筈です。これでは、ほとんど日本人が未解放部落の問題に對し、いまだ正しい認識が足りない証拠といわねばなりません。

また部落の人々には「朝鮮人の血が混っている」というような、根拠のない考え方をしている人々がいま。昔日本の文化は、朝鮮を経て日本に伝わったものが多いのです。このことから、当時は日本より朝鮮の方が、文明国であったものと考えられます。朝鮮が日本植民地となつてからどのような取扱いをしてきたか、そのため、日本人のおもいあがり差別となり、なかなかぬけきらぬものがあります。いづれにしても、朝鮮人に対する差別同様、部落差別は偶然おきたものではなく国家の仕組や政策、階級関係の中で作られたものであったのであります。

また農作がきつい季節に、一種の娯楽で慰さるため、曲芸師、声明師をおく必要が生じました。こういう仕事を農民、農奴以外にいわれる「散所」の民にさせました。生産性をより

あるけあるけ 運動

中央公民館

十月十日体育の日を卜し、本町恒例の歩行運動大会を催しましたところ、八十歳近い高齢者を筆頭に、老人会、婦人会、子供会のみなさん六百六十名という

御芳志ありがとうございます

ございました

(順不同)

- ◎ 金田町連合長寿会
 - 金一封 湊 静香殿
 - 金一封 有延太己夫殿
 - 金一封 守田 武敏殿
 - ◎ 金田町教育後援会
 - 金一封 森光 良明殿
 - 金一封 長藤九州男殿
- ◎ 前田直志殿
 - 金一封 三村真作殿
 - 金一封 有延太己夫殿
 - ◎ 社会福祉協議会
 - 金一封 田村 一郎殿
 - 田村 保殿
 - 田村 正殿

ではの感にうたれました。今年も豊作まちがいないと思われま。途中、上金田の運動会が盛んに行なわれているそばを通りました。当日は浄土寺保育園でも運動会が催されたということで、体育の日を地域や保育園等で生かして下さって、まことに結構なことだと感じました。

最近、お年寄の方が毎朝四軒、五軒と歩行運動をつづけている由ですが、若い方も常日頃出来るだけ歩くことに協力いただきたいと思います。文化生活は体力を低下させるとささいいわれますが、すべての幸福の基は、健康からです。その第一歩は「歩くことから」だと訓えられました。

終りに、ご参加のみなさんをはじめ、この行事にご協力下さった体育指導員、安全協会の方々へ厚くお礼を申しあげます。

一、あるこう会 ふとっ た人がふえてくる
一、先頭は、いつもの人か杖がゆく
一、五料では、ものたりぬぞと陸の声